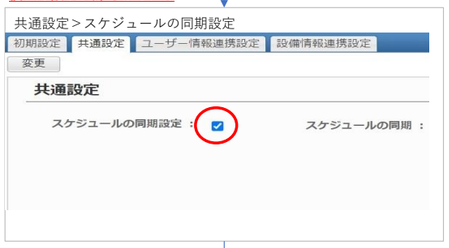
リビジョンアップ前に共通設定でスケジュール同期を行わない設定にしている場合

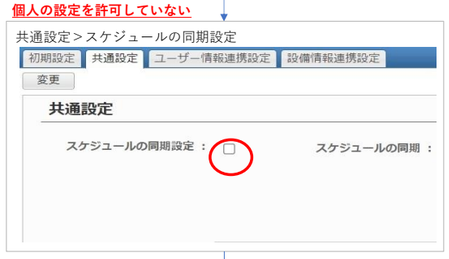
共通設定＞スケジュール同期設定（スケジュールの同期）

共通設定＞スケジュール同期設定（個人の許可設定）

個人の設定を許可している

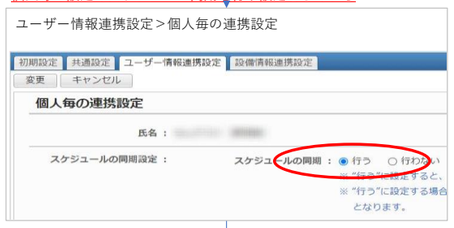


個人の設定を許可していない



ユーザー情報連携設定＞個人毎の連携設定

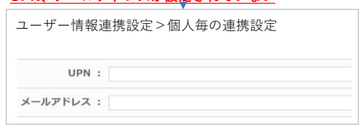
個人毎の設定でスケジュール同期を行う設定としている



個人毎の設定でスケジュール同期を行わない設定としている

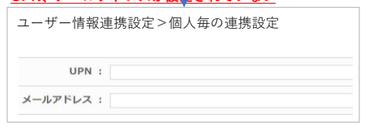
UPN、メールアドレスが設定されている

UPN、メールアドレスが設定されていない



UPN、メールアドレスが設定されている

UPN、メールアドレスが設定されていない



リビジョンアップ後のスケジュール同期				
スケジュール機能に同期ボタンが表示され同期が利用できます。また、自動同期が有効となっている場合は、自動同期による同期も開始されます。	スケジュール同期は利用できません。ただし、ユーザー側でUPN、メールアドレスを設定することで利用可能となります。	スケジュールの同期は利用できないが、ユーザー側でスケジュール同期を利用できるように設定変更が可能です。	スケジュールの同期は利用できません。 ただし、個人の設定を許可しない設定のまま、全体設定でスケジュール同期を行うに変更した場合、ユーザー個別設定に関係なく、スケジュール同期されます。	スケジュールの同期は利用できません。 ユーザー側での情報変更もできません。